

清川村 企業版ふるさと納税を活用した地方創生プロジェクト

清川村は、都心から50km圏にある大自然に囲まれた”神奈川県で唯一の村”！
村の総面積の約90%を占める森林が育む清い空気と清い水、森林から湧き出る清流を貯めた宮ヶ瀬湖は神奈川県民の水がめであり、美しい景観と広大な湖畔園地を有し、四季を通じてイベントも開催され、観光客・地元住民の憩いの場となっている。
国定公園である丹沢山系は登山・ハイキングの近場の人気スポットである。



企業版ふるさと納税の寄附対象事業：地域再生計画

地域ビジョン：新たな時代を切り拓く“スマートビレッジ”の構築



1) 働きたい“仕事”をつくる

- ① 地域活性化起業人制度を活用した企業誘致、不耕地活用等による雇用の創出
- ② 空き家やサテライトオフィスを活用した起業希望者への支援
- ③ きれいな水と空気を創造する森林整備と間伐材利用の促進
- ④ 農業と道の駅「清川」の連動機能の充実

2) 行ってみたい“魅力”をつくる：観光産業による交流人口の増加

- ① 宮ヶ瀬湖畔園地の広域的な取り組みによるブランディング推進
- ② 地域資源のレクリエーション活用と既存観光施設の機能強化
- ③ イベント参加型の各種ツーリズムの推進
- ④ 企業版ふるさと納税制度を活用した地域活性化の推進

3) 叶えたい“未来”をつくる

- ① 出会いの場の創出と結婚後の新生活への経済的支援の充実
- ② 子育て支援体制の強化(妊娠・出産・育児)
- ③ 小中一貫校を中心とした世代間交流・地域交流の促進

4) 住み続けたい“地域”をつくる

- ① 活力ある地域の創出
(イベントや伝統行事を通じた交流機会の創出)
- ② 安心・安全な地域の実現
(災害に対する自助・共助・公助の防災強化)
- ③ 持続可能な行政運営の推進
(DX化の推進、ごみ・鳥獣・樹木などの適正管理とインフラの整備)



清川村 企業版ふるさと納税を活用した地方創生プロジェクト

清川村が抱える課題

- * **人口減少**：少子高齢化の進展と人口流出、若者が希望を持って活躍できる環境整備、居住し続ける魅力作りが必要
- * **森林の高齢化**：樹齢50年以上→CO2吸収量の低下 & 水源涵養機能低下→保育間伐の維持が急務
- * **宮ヶ瀬湖畔園地の再生**：行ってみたい、リピートしてみたいと思える“魅力”の創出が必要
- * **低い知名度**：清川村に対する首都圏人口の認知度が約30%と低い、残り70%ポテンシャルに対する魅力発信が必要

課題に対する解決策①

煤ヶ谷地区：道の駅周辺地域資源を活用した地域経済の活性化

① 既存針葉樹林の広葉樹への植替えと森林内遊歩道の新設

- * 道の駅・村役場周辺の景観林の整備（吉野桜・もみじ・等への植替え）をすることにより道の駅来訪者に四季を感じてもらえるように整備する。
- * 間伐材ウッドチップの活用等により森林遊歩道の新設し、ハイキングができるよう整備することにより、来訪者の滞在時間を増やしてもらう。

② 道の駅と駐車場の整備・拡充

③ 新たな産業の誘致・連携

オートキャンプ場（既設）、醸造事業（新規：クラフトビール・ワイン）、六次農業（既設：シャインマスカット・ワインブドウ）



清川村 企業版ふるさと納税を活用した地方創生プロジェクト

課題に対する解決策 ②

宮ヶ瀬地区：森林涵養の為に伐採した間伐材の有効活用及び行ってみたい“魅力”を作る事業

森林保護の大切さを感じてもらえるように、観光客に森に入ってもらうための森林遊歩道の整備(村主導)、及び湖畔園地内にアクティビティー施設を新設し(民間主導)、宮ヶ瀬湖畔園地の魅力を高め、観光客及び交流人口の増加を図る。

1) 間伐材を活用した森林遊歩道の整備

＊ 水源環境を学習してもらうために、老朽化した既存遊歩道を整備し、森林ワークショップの開催等の企画を実施する。

2) 間伐材を使用した案内看板に企業名を冠することにより、企業ブランディングに活かしていただく。

3) その他多目的活用案

ツリークライミング、トレッキングツアー、トレイルアドベンチャー施設、ジップラインコース等の設置



清川村 企業版ふるさと納税を活用した地方創生プロジェクト

① ロングジップラインツアー



① 全長350m、高低差25m
バーベキューエリアから山を上がり
やまなみセンター屋上まで滑走

② 全長 780m 高低差55m
もみの木の横を滑走、浸水池を超える
2人並列同時滑走



② 樹上ハイキングコース

お年寄りや小さなお子様も森林に触れあえる樹上ハイキングコース

⑥ New sports 入門エリア

微風でも楽しめる
カイトfoilなど
New sportsの初心者体験に



⑤ ソロキャンプ エリア

湖畔にソロキャンプコテージ
バイク、自転車キャンパー向け



③ フィンランドサウナ

湖畔は公衆サウナ、小島にプライベートサウナ



森の巨人プロジェクト

参考

清川村 企業版ふるさと納税：パートナー企業様にとっての価値

税軽減効果：寄附額の最大9割が税額軽減され、企業の実質負担が1割まで圧縮されます



例) 1,000万円のご寄附の場合

最大900万円の法人関係税が軽減されます。

※税額控除の手続（申告）や算出に関しては税理士や所管する税務署へご相談ください。

企業版ふるさと納税を通じたカーボンニュートラルへの貢献と企業ブランディング

企業版ふるさと納税を通じて当村へご寄付をいただくことにより、村が抱えている森林資源の保全・維持活動に関する課題解決の一助となり、貴社のカーボンニュートラルに対する活動が認知され、延いては、企業イメージの向上＝ブランディングに繋がることが期待されます。

清川村とのパートナーシップと企業様PR

- * 貴社と本村とのパートナーシップ構築に関し、本村及び貴社ホームページへの掲載、新聞・地元広報誌への掲載等による拡宣
- * 寄附活用事業で整備された事業・施設に設置する銘板等への貴社名の掲載。



ご連絡先：清川村 村づくり観光課

〒 243-0195 神奈川県愛甲郡清川村煤ヶ谷2216番地

☎ 046-288-3864 (直通)

✉ kankou@town.kiyokawa.kanagawa.jp

担当者：地域活性化起業人 外岡紀彦 090-6174-1431

